



活力ある秋田 Vol. 53

もっと積極的な 情報発信を

[秋田市観光クチコミ大使]

名古屋鉄道(株) 取締役鉄道事業本部副本部長

高田 恭介氏

(元日本銀行秋田支店長)

秋田観光と北海道観光との比較

私は、2006年8月から2年3か月間、日銀秋田支店長の職にあり、秋田の食、自然、文化などの素晴らしさを大いに堪能しました。

秋田から転勤して3年後には、日銀札幌支店長になりました。言うまでもなく、観光は北海道にとって最大の産業です。北海道は、季節ごとの自然の素晴らしさ・雄大さ、農水畜産物の美味しさ・豊富さ、ゴルフ場やスキー場のレベルの高さ、「さっぽろ雪まつり」をはじめとする各種イベントなど、圧倒的な観光資源を誇っています。しかしながら、我が秋田も、美味しい日本酒、あきたこまち、比内地鶏、稲庭うどん、豊富で個性的な温泉、大曲の花火大会、竿燈まつりをはじめとする数多くのお祭り、秋田美人など北海道ほどのスケール感はありませんが、一流の観光資源が揃っており、決して北海道に引けはとらないと思います。

積極的な情報発信の必要性と具体的方法

ただ、残念ながら東北以外の他地方で秋田の観光資源や魅力を知っている人はそう多くはありません。北海道でも地元では、ライバルの沖縄県と比べて、観光予算が少なく、観光PRが不足していると批判されていますが、そうは言っても、各種のテレビ番組の特集や、百貨店の北海道展が頻繁に企画されるなど、非常に恵まれた状況にあります。これに対して、秋田の場合は、自らが積極的に情報発信しない限り、秋田のよさを知ってもらうのが難しいのが今の現実です。実際に、北海道でも、また、現在私が居住している名古屋でも、秋田が東北のどこにあって、何が有名なのか、どういう美味しい食材があるのかを知っている人は一部のマニアだけです。テレビの「秘密のケンミンSHOW」という番組がヒットしていることからみても、他地方の人が決して秋田に興味や関心がないわけではなく、おそらく秋田サイドからの情報発信力が不足していることがその原因ではないでしょうか。

観光PRの予算が限られている以上やむを得ない

面もありますが、今の秋田の情報発信は、東京等関東圏向けが大半で、北海道や名古屋では、秋田のPRに触れる機会は残念ながら全くと言ってよいほどありません。先般、弊社の関連会社である名鉄百貨店において、「山形県の観光と物産展」が開催され、大盛況でした。秋田も、例えば、名古屋や大阪、札幌、福岡など東京以外の大都市の百貨店で、「秋田県の観光・物産展」を開催して秋田をPRするなど、少ない予算で、秋田の観光や物産を効果的に情報発信する方法を考えることも重要でしょう。

また、アジアを中心としたインバウンドの誘客促進も大事な視点です。今、中部地区では中部北陸9県が共同して、「昇龍道プロジェクト」というインバウンド戦略に官民上げて取り組み、台湾、中国、東南アジア等に向け弊社も含めて積極的な売り込みを図っています。秋田単独でのインバウンド開拓はなかなか難しいと思いますので、東北や北陸の近隣他県と共同して、インバウンド戦略の立案とアジアに向けてのより積極的なPRができないものかと思っています。

最後に

本年11月には、愛知県豊川市でB-1グランプリが開催されます。秋田県からは、「横手やきそば」などが参加されると思いますが、愛知県での秋田PRの絶好の機会ですので、大いに盛り上げてぜひ積極的に秋田をアピールしてください。私が転職した名古屋鉄道の沿線でのイベントでもありますので、私も「秋田市観光クチコミ大使」として、秋田チームを積極的に応援したいと思っています。

■略歴

神奈川県出身

- H18. 7 日本銀行秋田支店長
- 20.11 預金保険機構審議役
- 22. 7 日本銀行金融機構局参事役・上席考査役
- 23. 6 日本銀行札幌支店長
- 25. 1 日本銀行退職
- 1 名古屋鉄道入社(事業企画部部長)
- 7 名古屋鉄道取締役(鉄道事業本部副本部長)